地域食堂を取材する会話と敬語

北海道教育委員会　令和７年度公立高等学校入学者選抜　国語

北海道教育委員会　二次利用条件

対象ページを抜粋し、出典表紙を追加。

https://www.koukou.hokkaido-c.ed.jp/gakuryokukensa/r07gakuryoku/r07nyuusi_kokugo.pdf

https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gks/SecondaryUse.html

三

次は、中学生の白川さんが、夏休みの課題で「地域のつながり」について調べることになり、地域食堂を訪ねているときの会話の一部です。これを読んで、問いに答えなさい。（配点　16）

登場人物
藤田さん――白川さんの幼い頃からの知り合いで、地域食堂で調理を担当している。
吉井さん――地域食堂の近所に住み、趣味で作った野菜を提供している。

藤田さん　今日の夕食は、吉井さんの畑で採れたトマトを使ったハヤシライスよ。どうかしら。

白川さん　トマトの酸味と甘さのバランスが絶妙でとてもおいしい。さすが藤田さん。

藤田さん　お口に合ってよかった。この味は、私の料理の［①］があって、さらに［②］があったからこそ生まれたのよ。

吉井さん　そんな風に言ってもらえてうれしいな。そろそろトウモロコシが収穫できると思うから、次はトウモロコシを使った料理をお願いね。

白川さん　その料理も食べてみたい。ところで、吉井さんは農業を営まれているのですか。

吉井さん　いえいえ、定年退職してから、趣味で作った野菜を、ここで使ってもらっているんですよ。

白川さん　そうだったのですね。この地域食堂は毎週水曜日に開かれているとのことですが、毎週こちらに来ているのですか。

吉井さん　そうですね。ほぼ毎週来ています。

白川さん　実は私、夏休みの課題で「地域のつながり」について調べることになって、知り合いの藤田さんにお願いして、こちらにおじゃましています。よかったら、この食堂に関わっていて、普段感じていることを教えていただけますか。

吉井さん　いいですよ。ここに来るようになって二年たちますが、外を歩いているときに笑顔であいさつを交わせる人が増えたんですよね。顔見知りの人が増えると生活していて安心します。それに、自分が作った野菜が皆さんの役に立つのはうれしいことです。ここで生まれる地域の人とのつながりは、私の励みになっています。

藤田さん　同じ地域に住む人たちと自然にあいさつができるって、それだけで安心しますよね。

白川さん　なるほど。

藤田さん　まさにこの食堂は、人と人とのそういうつながりが生まれればという考えで始まったのよ。

白川さん　そうだ。藤田さんは、この食堂が始まった頃からボランティアをしているのでしたね。食堂が始まった頃のことについて教えてください。

藤田さん　そうね。ここが始まって二十年たつけれど、当時の自治会長さんが、隣人同士のつながりが弱くなっていることに危機感を抱かれたの。そして、単身世帯の高齢者の方が地域の色々な方と話す場が必要だということで始まったのよ。ちょうどその頃、私も家族で引っ越してきたばかりで、これから生活する地域を知るために関わり始めたの。今では、高齢の方以外にも、小さなお子さんのいるご家族が利用されることも増えたわ。ボランティアの仲間も少しずつ増えて、特に、吉井さんのように退職された方々が積極的に支えてくれているのよ。

白川さん　なんだかとても心が温まる話ですね。地域のつながりは、

問一　会話の内容を踏まえ、［①］に当てはまる語として最も適当なものを、**ア**～**エ**から選びなさい。また、［②］に当てはまる表現を、十字程度で書きなさい。

ア　舌
イ　指
ウ　腕
エ　目

問二　――線「来ているのですか」を、尊敬語を使って敬意を表す表現に書きかえなさい。

問三　会話の［　　］で囲んだ白川さんの発言について説明したものとして最も適当なものを、**ア**～**エ**から選びなさい。

ア　事前に調べた内容を示すことで、正しい情報を引き出そうとしている。
イ　自身の立場を示すことで、専門的な立場で答えてもらおうとしている。
ウ　自身の見解を示し質問することで、具体的に答えてもらおうとしている。
エ　訪問の意図を伝えることで、意図に応じた答えを聞こうとしている。

問四　白川さんは、会話の［　　］に、吉井さんと藤田さんの話を聞いて、地域食堂と地域のつながりの関係について気付いたことを発言しようとしています。［　　］に当てはまる表現を、七十字以上、九十字以内で書きなさい。ただし、白川さんの質問に対する、吉井さん、藤田さん、それぞれの回答の内容を踏まえること。

左の枠は、下書きに使って構いません。解答は必ず解答用紙に書くこと。

160　140　120　100　80　60　40　20